

令和 6 年度「第 3 次青森県子ども・若者育成支援推進計画」関連事業一覧

【基本目標Ⅱ】 困難を有する子ども・若者やその家族へのきめ細かな支援

重点目標 9 特に配慮が必要な子ども・若者への支援の充実を図ります

No.	R6部局名	R6課名	事業名	重点目標項目				重点 枠 事業	新規 継続	R6予算額 (千円)	令和 5 年度 の取組状況	令和 6 年度 の主な事業内容	令和 6 年度 の取組状況	施策の 方向性等
1	こども家庭部	県民活躍推進課	性の多様なあり方理解促進事業	9					継続	1,524	青森県パートナーシップ宣誓制度の周知と、性的マイノリティに対する県民理解を促進するため、企業等向け啓発パンフレットを作成し、市町村等に配布協力を依頼した。	性的マイノリティに対する県民理解を促進するため、企業向け研修会を開催するとともに、若者向け啓発パンフレットを作成し、配布する。	性的マイノリティに対する県民理解を促進するため、企業向け研修会を開催するとともに、若者向け啓発パンフレットを作成し、県内各大学・短期大学等に配布した。	3①
2	健康医療福祉部	障がい福祉課	SNSを活用した相談事業	9					継続	36,914	中学生～39歳までの若年層を対象に、SNS相談を実施した。 ・相談実績 90日間 356件 (内訳) 令和5年 8月 30日間 134件 令和5年11月 28日間 115件 令和6年 1月 30日間 107件	中学生～39歳までの若年層を主な対象とし、SNS相談を実施する。	中学生～39歳までの若年層を対象に、SNS相談を実施した。 ・相談実績 188日間 682件 ・期間 令和6年8月19日～令和7年2月28日	1④
3	教育庁	学校教育課	AOMORI 多文化共生推進事業	9					継続	3,915	外国につながるのある子どもの日本語指導体制の確保・充実を図るため、連絡協議会を2回開催し、教員や関係機関との連携を図り、日本語支援プログラムを実施した。	外国につながるのある子どもの日本語指導体制の確保・充実を図るため、県内関係機関と連携し、日本語支援プログラムを実施する。	外国につながるのある子どもの日本語指導体制の確保・充実を図るため、連絡協議会を2回開催し、教員や関係機関との連携を図り、日本語支援プログラムを実施した。	2②